



AIoT家電を活用した 「フェーズフリー防災」への取組

シャープ株式会社
Smart Appliances & Solutions事業本部
Smart Life事業統轄部

佐藤 浩司

■フェーズフリーという考え方

いつも使っているモノやサービスを、

もしものときにも役立つようにデザインしようという考え方。

■家電はフェーズフリーな商品

「普段」
そばにある
家電が



何処でも

各部屋におけるので
人の近くにある



何時でも

必需品だから
毎日使える
状態にある



誰でも

普及率が高いから
老若男女
誰でも所有

「もしも」を
サポート



把握する

センサー値や運転
状況からユーザーの
状態を把握



制御する

遠隔からの適切な
操作で事故を
未然に低減



伝える

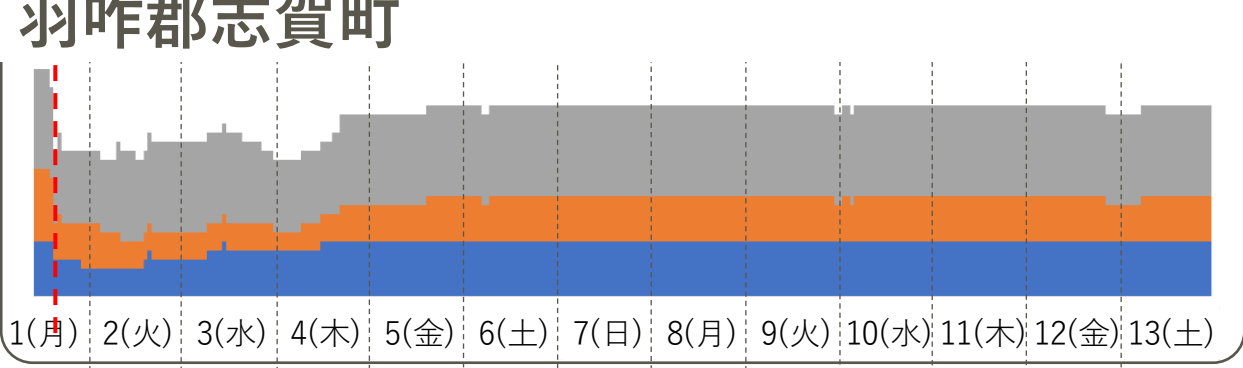
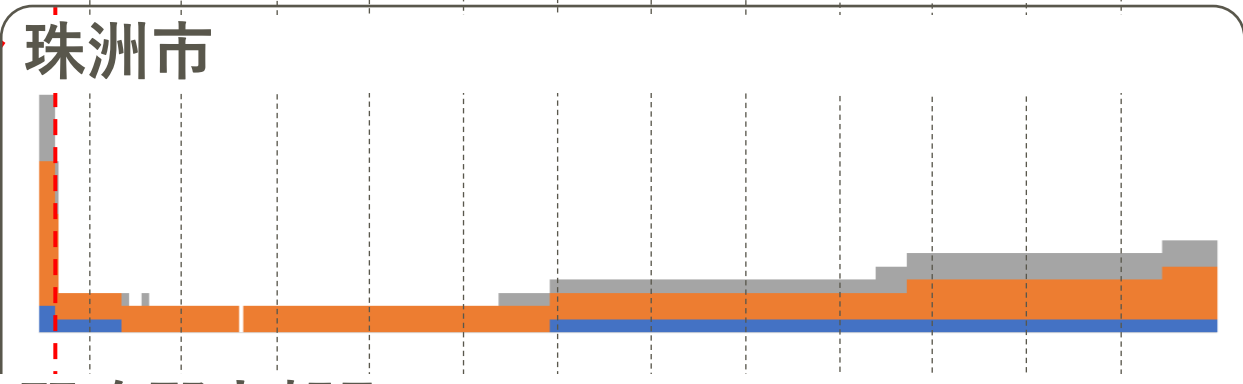
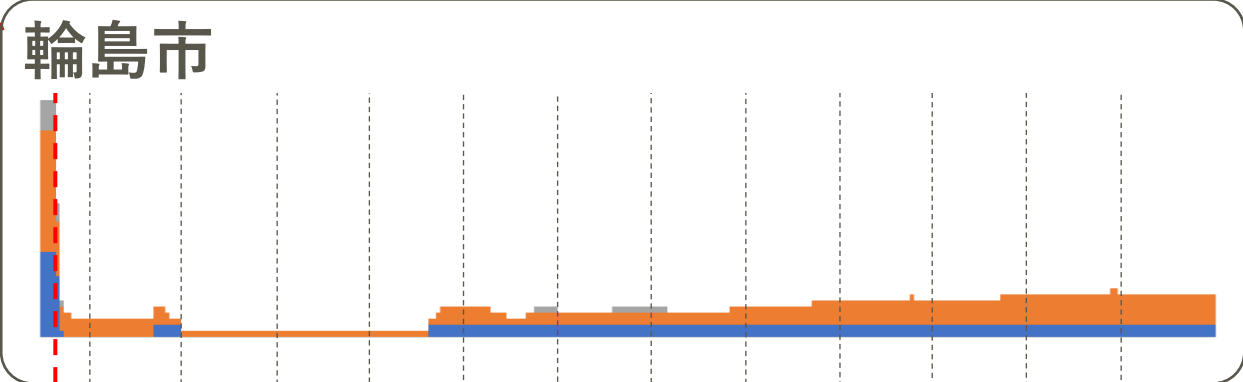
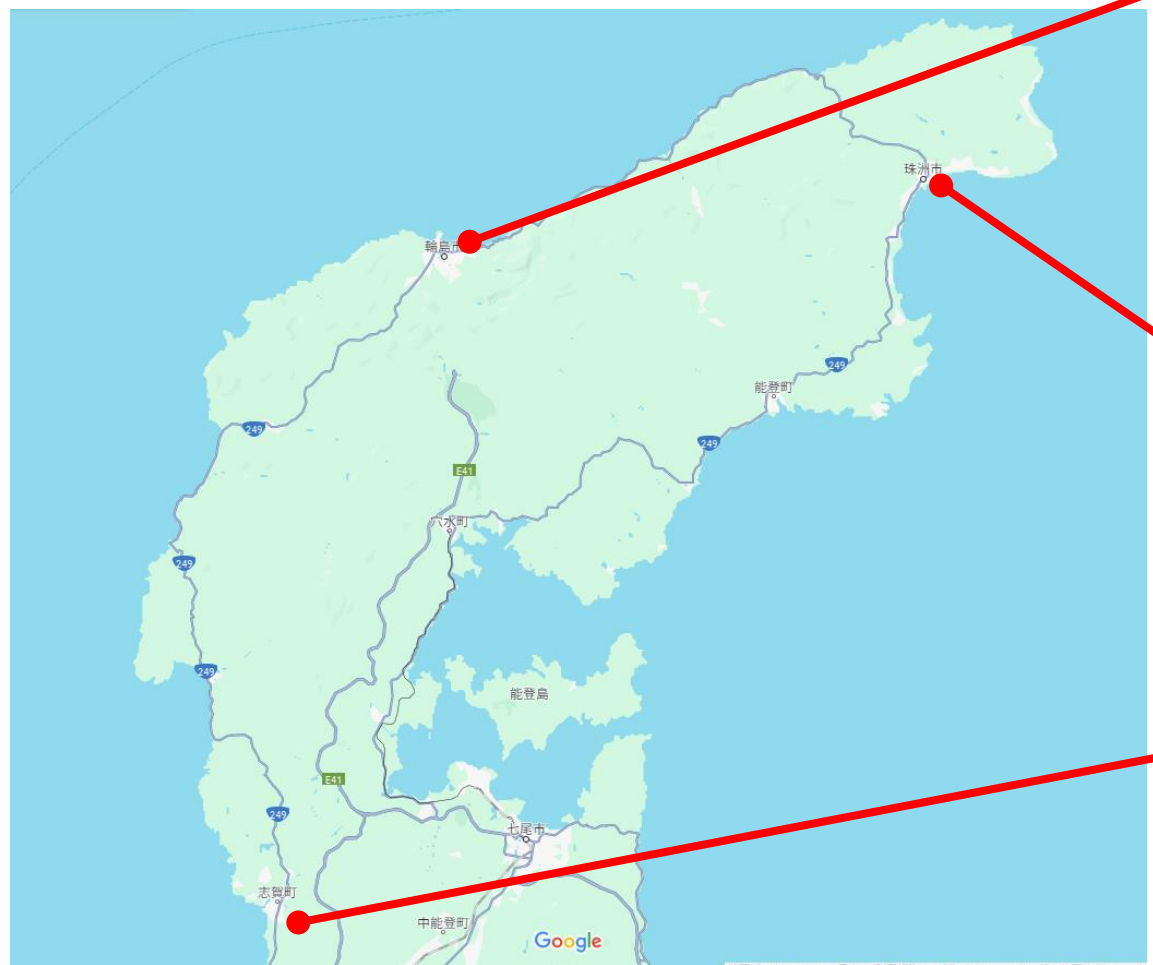
PUSH型の表示や
発話で確実に
情報を伝える

■AIoT家電の防災活用イメージ



イエナカ情報を取得する

■家電の接続率の時間経過 2024/1/1 (月) 12:00~1/13 (土) 24:00



地震発生
 ■ エアコン
 ■ 空気清浄機
 ■ 冷蔵庫

防災・災害情報を伝える

■家電を活用した防災情報の発信



自主的に避難を
始めましょう



安全な場所に
避難してください



既に災害が起きている
可能性があります



■家電の防災発話の位置づけ



多重化・多様化している情報配信の手段の中で
家電は「**宅内にいる住民に確実に防災情報を届ける**」という部分を担う

■ 平時も含めた「レジリエントで安全・安心な社会」の実現

住民から見たフェーズフリー

AIoT家電が
生活の質を高めてくれる

AIoT家電が
命を守ってくれる

平時

発災

復興

在宅介護者に設置した
AIoT家電で見守り

町会長宅に設置した
AIoT家電で避難支援

家庭に設置した
AIoT家電で復旧状況を把握

集会所、学校に設置した
AIoT家電で避難所運営支援

自治体から見たフェーズフリー

■ シャープはフェーズフリーなAIoT家電で社会貢献を進めます

防災・減災

地域自治
・ 町内会



見守り

都市計画